|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 常磐大学大学院博士課程（後期）　研究生 | | | | |
|  | | | | |
|  | | | | |
| （予備調査・予備実験/本調査・本実験）　研究計画書 | | | | |
| ↑該当する項目どちらかを記載する | | | | |
|  | | | | |
| 研　究　題　目： |  | | | |
| （英文題目）： |  | | | |
|  | | | | |
|  | | 提出日： | 年　　月　　日 | |
|  | | 所属： | 人間科学研究科 | 修士課程 |
|  | | 学籍番号： |  | |
|  | | 氏名： |  | |
|  | | 研究指導教員名： |  | |

Ⅰ　学生情報（必須項目）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | | | | | 学籍番号 |  | | |
| 氏名 |  | | | | | 所　　属 |  | | |
| 連絡先 | 住所 | 〒 | | | | | | | |
|  |  |
|  | Tel |  | | | | | | | |
|  | Fax |  | | | | | | | |
|  | E-mail |  | |  | | |  | |  |
| 研究指導教員 | 所属・職名・氏名 | | |  | | |  | |  |
| 実験・調査  実施協力者 | □本学教職員 | | □本学学生（院生、学部生） | | | | | □他大学学生 | |
| □学外施設・機関関係者 | | | | □海外在住の邦人 | | | □海外在住の外国人 | |
| □その他 | | | | | | |  | |

Ⅱ　研究の概要（必須項目）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　研究分類 | □修士論文 | □博士論文 | □その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| ２　審査を受ける目的 | □予備調査・予備実験実施のため | | | □本調査・本実験実施のため |
| ３　研究倫理審査の必要性 | □有（様式Ⅳを添付すること） | | | □無（Ⅲの研究計画までを執筆のこと） |
| ※研究科委員会の判断により、研究倫理審査を必要とする場合があります。 | | | |
| ４　研究期間 | ２０　　年　　　月　　　日　～２０　　年　　　月　　日 | | | |
| ５　研究資金 | □研究奨励金 | □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| ６　研究実施場所 | □学内（キャンパス名・建物名・教室名） | | | |
| □国内（施設・機関等名称入） | | | |
| □国外（国名・施設・機関等名称） | | | |
| 特記事項： | | | |
| ７　研究協力者への事前説明の有無 | □有（内容） | | | |
| □無（理由） | | | |

Ⅲ．研究計画（必須項目）

１．研究の枠組

２．研究目的

３.研究方法

４．予想される結果

５．主要参考文献および主要な先行研究

Ⅳ　研究倫理的配慮（研究対象および個人の情報、データ収集・採取について）

**（任意項目：１ページ目Ⅱ－３「研究倫理審査の必要性」において「有」にチェックした者は作成すること）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　種別と数（予定）＊動物実験については、動物実験倫理委員会の書類を提出すること | | | | | |
| Ａ． | □動物 | 種　名 |  | 個体数 |  |
|  |  |  |  |  |
| Ｂ． | □成人 | □学生（本学学部生、院生） | | 対象者数　　　　　　　名 | |
|  |  | □他大学学生 | | 対象者数　　　　　　　名 | |
|  |  | □その他 | | 対象者数　　　　　　　名 | |
| Ｃ． | □未成年者  （18歳未満） | □生徒（□高校生　□中学生　□小学生） | | | |
| □小児（年齢　　　歳） | | 対象者数　　　　　　　名 | |
| Ｄ． | □障害のある対象者 | □知的障害者　□精神障害者　□身体障害者　□その他 | | | |
|  | | 対象者数　　　　　　　名 | |
| Ｅ． | □未定・予め特定できない | | | | |
|  |  | | | 総計　　　　　　　　　名 | |

|  |  |
| --- | --- |
| ２－１　対象の選出方法とその根拠： | |
|  | |
| ２－２　研究協力の依頼・説明方法（インフォームド・コンセント）：書面で研究協力を依頼する場合、研究内容を説明した依頼書と誓約書、そして同意書を添付してください。 | |
| 対象： | □個人　　□集団　　□代諾者（□保護者・後見人　□施設責任者）  □その他（　 　　　　 ） |
| 方法： | □書面と口頭で　□書面のみ　□口頭のみ　□その他（　　　　　　　） |
| 書面以外で行う場合の説明内容： | |
|  | |
| 実施者（申請者と異なる場合：所属・職名・氏名）： | |
|  | |
| インフォームド・コンセントがとれない場合の理由 | |
|  | |

|  |  |
| --- | --- |
| ２－３　対象者が研究の途中で協力をとめるための具体的方法、またそのことで不利益を受けない権利を保証する方法： | |
|  | |
| ３　研究（調査を含む）を実施する施設責任者等に対する研究協力の依頼方法 | |
|  | |
| ４　個人の情報、データの収集・採取方法：調査用紙（案）等がある場合には添付してください。 | |
|  | |
| ５　対象者に与える不利益等の可能性の有無： | □有り　　　　□無し |
| ①不利益等の内容（研究中あるいは研究終了の身体的・精神的な影響を含む）： | |
|  | |
| ②不利益等への対応 | |
|  | |
| ６－１　個人情報の匿名化の方法（個人の特定が可能な情報を収集する場合）： | |
| □①匿名化しない（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □②連結可能匿名化（個人を識別する情報を取り除き、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成する） | |
| 理由（記入例：研究対象者からの開示または廃棄の請求に応じる必要がある、データの解析結果を研究対象者に知らせる必要がある、等）： | |
| □③連結不可能匿名化（個人を識別する情報を取り除き、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成しない） | |
| 理由（記入例：研究対象者からの開示または廃棄の請求に応じる必要がある、データの解析結果を研究対象者に知らせる必要がある等）： | |
| □④外部提供機関で匿名化 | |
|  | |

|  |
| --- |
| ６－２　収集した個人情報やデータの保管方法： |
| 保管責任者（所属・職名・氏名） |
| 具体的措置： |
| ６－３　収集した個人情報やデータの廃棄方法 |
|  |

Ⅴ　確認事項（必須項目）

以下の項目を確認した上で、チェックをしてください。

最後に、提出者の署名（直筆）と署名日時、研究指導教員の署名と確認日時を記入してください。

【提出者確認事項】

□　本研究の実施手順に何らかの変更が生じる場合には、変更前に再度、研究科委員会および大学院研究倫理委員会の審査を受けることを了承します。

□　研究対象者に関する問題が生じた場合には、ただちに大学院研究倫理委員会に連絡します。

□　大学院研究倫理規程については熟読しています。

申請者署名：

確認年月日：　　　　　年　　　月　　　日

【研究指導教員確認事項】

□　研究計画書の内容をすべて確認いたしましたので、審査をお願いします。

研究指導教員署名：

確認年月日：　　　　　年　　　月　　　日